



夙川学院短期大学 2016

保育士資格取得特例制度募集要項

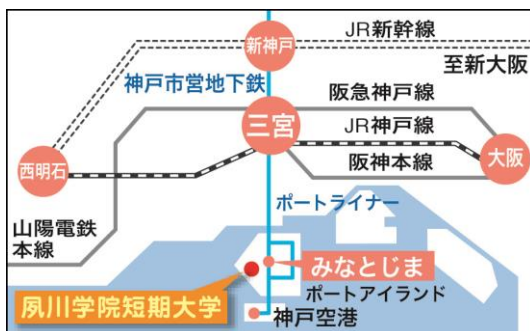
認定子ども園法改正に伴う幼稚園教諭免許状および保育士資格取得の特例制度について

認定こども園法改正に伴い創設された新たな「幼保連携型認定こども園」の職員である「保育教諭」については、「幼稚園教諭免許状」と「保育士資格」の両方の免許・資格を有することが原則となります。

認定こども園法改正に伴い、施行後5年間の経過措置期間に、保育所または幼稚園における勤務経験（3年以上かつ4320時間以上）を有することにより、もう一方の免許・資格取得に必要な単位数等を軽減する特例制度が設けられました。

本通信教育では、本特例制度に対応する幼稚園教諭保持者の保育士資格取得のために、科目を制度で定められた最低単位数である4科目（8単位）を開講します。

※本特例制度についての詳細は、文部科学省または厚生労働省のホームページ等で、必ずご自身でご確認ください。



〒650-0045

兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番11

担当：幼保特例講座 担当

TEL: (078) 940-1154 (代表)

e-mail: tokurei@shukugawa-c.ac.jp

Web 申し込み: <http://www.shukugawa-c.ac.jp>

JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神「神戸三宮」駅、
神戸市営地下鉄「三宮」からポートルイナーで約9分
「みなとじま（キャンパス前）」駅下車、徒歩約10分

<受講について>

1. 受講資格

幼稚園教諭普通免許状を所有し、実務経験3年以上かつ実労働時間合計4320時間以上を有する方

【注意】

申し込み時に、幼稚園教諭普通免許状の写しの提出が必要です。

実務経験（3年以上かつ4320時間以上）の充足については、受講申し込み時に証明書を提出する必要はありませんが、ご自身で勤務施設に必ずご確認のうえ、お申し込みください。

※本学では、実務経験に関するお問い合わせにはお答えできません。

<実務経験対象施設について>

勤務が実務経験として認められるのは、次の施設等の職員となります。

- 1) 幼稚園（特別支援学校幼稚部を含む）
- 2) 児童福祉法第39条第1項に規定する保育所
- 3) 認定子ども園<児童福祉法第59条第1項に規定する施設のうち同法第39条第1項に規定する業務を目的とするものであって就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供に推進に関する法律第3項の認定を受けたもの及び同条第5項の規定による公示がされたもの>
- 4) 国、都道府県または市町村が設置する児童福祉法第39条第1項に規定する業務を目的とする施設（専ら一時的に預かり又は宿泊させ必要な保護を行うものを除く）
- 5) 児童福祉法施行規則第49条の2号第4号に規定する施設（いわゆる「幼稚園併設型認可外保育施設」）（専ら一時的に預かり又は宿泊させ必要な保護を行うものを除く）
- 6) 認可外保育施設のうち、「認可外保育施設指導監督基準」を満たしていることにつき都道府県知事、指定都市の長又は中核市の長から証明書の交付を受けている施設（専ら一時的に預かり又は宿泊させ必要な保護を行うものを除く）

【注意】

- ① ご自身の勤務施設が対象であるかどうかについては、各都道府県教育委員会または保育主管部局に必ずご確認ください。
- ② 実務経験を有していることを証明する「実務証明書」（教育免許状授与申請、または保育士試験出願時提出書類）の発行が可能であるか、出願時にご自身で勤務施設に必ずご確認ください。
「実務証明書」については、幼稚園において専ら幼児の保育に従事する職員の場合、公立学校の教員は各所管教育委員会、私立学校の場合は私立学校を設置する学校法人理事長、または保育士（私立・公立）の場合は、勤務施設の設置者による発行になります。
なお、実務経験は、複数の勤務施設における合算（3年以上かつ4320時間以上）でも可能です。
※出願時に「実務証明書」を本学に提出する必要はありません。

2. 募集定員 50名（最小催行人数10名）

3. 受講申し込み

本学ホームページよりインターネットを利用し申し込み

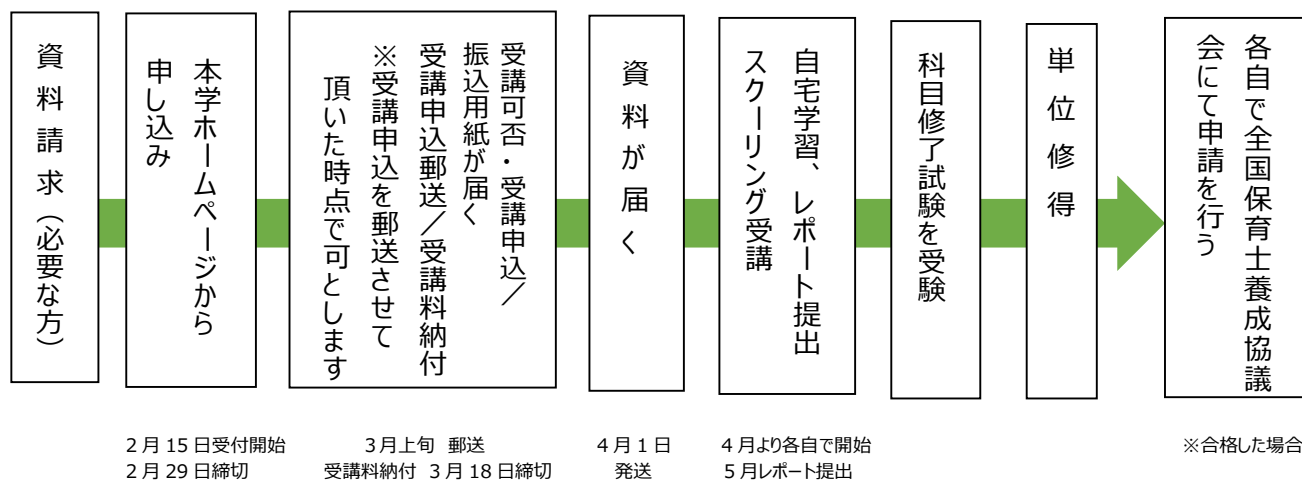
4. 申込期間

平成28年2月15日～2月29日

5. 受講可否連絡同封書類

申し込み書類名		記入方法
1	受講登録書	ペンまたはボールペンで記入してください 写真 3cm×4cm（裏面に氏名記入）を2枚用意し、1枚は受講登録書へ貼付し、もう1枚は同封ください。（受講証作成用）
2	幼稚園免許状の写し	免許状に記載の氏名と現在の氏名が異なる方は、戸籍抄本も一緒に提出してください。

<特例制度を利用した免許・資格取得の概要>



<開講科目>

本学で開講する特例制度の指定科目は下記の通りです。特例制度で定められている4科目8単位（テキスト学習、1.5日間のスクーリング学習）の開講です。

試験免除科目	養成施設における科目	本学開講科目名	単位	受講料
社会福祉	社会福祉	福祉と養護 (山川 宏和)	2	20,000 円
社会的養護	社会的養護			
児童家庭福祉	児童家庭福祉			
保育原理	家庭支援論	相談支援 (高田 さやか)	2	20,000 円
	保育相談支援	乳児保育 (林 富公子)	1	10,000 円
	乳児保育		1	15,000 円
子どもの保健	子どもの保健 1	保健と食と栄養 A・B (黒瀬 久美子) (廣田 有加里)	2	20,000 円
子どもの食と栄養	子どもの食と栄養			

テキスト履修「福祉と養護」「相談支援」「保健と食と栄養 A・B」

- 1、指定されたテキストを購入し、自宅で学習します。
- 2、テキスト等を読み、与えられた設題についてレポートを作成し決められた期間内に提出します。
- 3、レポート、科目最終試験ともに合格すれば履修完了となり、所定の単位が認定されます。

テキスト履修・スクーリング・テキスト履修「乳児保育」

- 1、指定されたテキストを購入し、自宅で学習します。
- 2、テキスト等を読み、与えられた設題についてレポートを作成し決められた期間内に提出します。
- 3、キャンパスに登学して、教員から直接授業を受けます。定められたスクーリング日程の受講時間すべてに出席し、スクーリング試験を受験します。また、スクーリング終了後、講義内に指示された課題についてテキスト等で学習を深め、期日までにレポートを作成、提出します。合格すれば履修完了となり、所定の単位が認定されます。

<受講料>

項目	金額(円)
受講可否審査料・登録料(初回のみ)	10,000円
受講料(1単位)	10,000円
スクーリング受講料(1単位)	15,000円

★教科書購入は個人で行っていただきます。

1科目 1,000円～3,000円くらいです。

★科目修了試験の再試験・再レポートに際しては

1科目1回につき2,000円が別途必要となります。

★その他、科目修了試験受験・スクーリング受講の際の交通費、レポート提出の郵送料等は含まれません。

<受講料の例>

4科目の場合 受講可否審査料・登録料+登録料+受講料(7単位)+スクーリング受講料(1単位)=95,000円

1科目の場合 受講可否審査料・登録料+登録料+受講料(2単位)=30,000円

再レポート・科目修了試験の再試験につて

再レポート料・再受験料 各2,000円

再レポート・科目修了試験の再試験は各1回のみです

4) 免許状の申請

保育士試験事務センターにて各自で申請を行ってください。

<年間スケジュール> ※日程は諸事情により止むを得ず変更することがあります。

	保健と食と栄養 A・B	乳児保育	福祉と養護	相談支援
スクーリング開催日	——	8月6・7日	——	——
レポート提出締切日	5月17日	1回目 7月8日 2回目 8月30日	9月20日	11月8日
科目修了試験日	6月11日	——	10月15日	12月4日

科目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保健と食と 栄養 A・B	自宅学習 →	レポート提出 5/17	試験 6/11						
乳児保育		自宅学習 →		レポート提出 1回目 7/8	スクーリング 8/6・7	レポート提出 2回 8/30			
福祉と養護				自宅学習 →		レポート提出 9/20	試験 10/15		
相談支援							自宅学習 →	レポート提出 11/8	試験 12/4